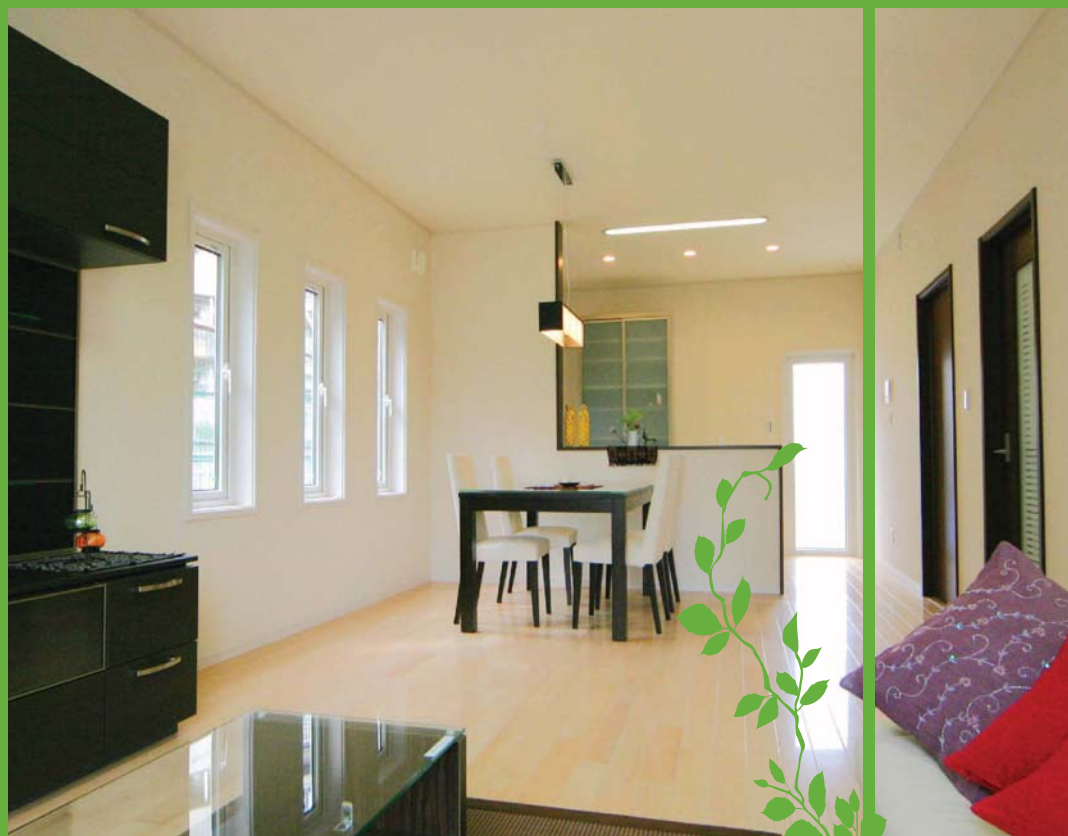


TATSUMI HOME

Corporate profile



01-02
会社理念
～ビルダーレポート～
タツミホームの魅力に迫る!

03-04
住まいづくりにおける
キーワード その1
環境にやさしい家

05-06
住まいづくりにおける
キーワード その2
家族の健康を守る家

07-08
住まいづくりにおける
キーワード その3
建てる前も完成後も
安心をくれる家

09-10
～クローズアップハウジング～
FPの家

11-12
～クローズアップハウジング～
2×4工法の家

13-14
HAPPY VOICE
●愛知県 M様邸
●愛知県 T様邸

愛知県知事免許(8)第11922号
タツミホーム株式会社

住まいづくりは、暮らしづくり。
ただ住まうだけの家ではなく
家族みんなが毎日笑顔で
暮らしを楽しめる…
そんな住まいづくりを
お手伝いさせていただきます。

詳しい情報・資料請求は
ホームページをご覧ください

<http://www.tatsumi-home.co.jp/>

E-mail: tm@tatsumi-home.co.jp



愛知県知事免許(8)第11922号

タツミホーム株式会社

☎0120-40-4441 〒478-0012 愛知県知多市翼ヶ丘 2-113 TEL.0562-35-1300 FAX.0562-35-1345

ビルダーレポート

タツミホームの 魅力に迫る!

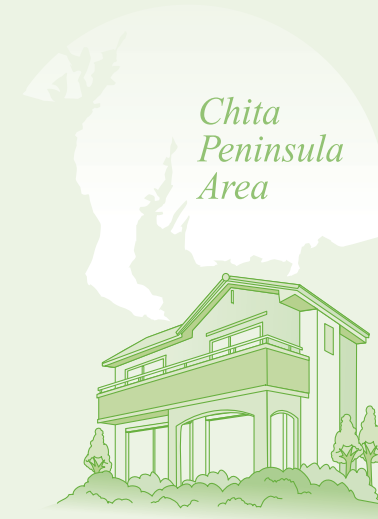


これからは本物の時代!
素材・性能・つくり手の心・・・
すべて本物だけを
そろえて質を追求した
信頼の住まいづくりを
ご提案します



タツミホーム株式会社
代表取締役
関 徳久
Naruhisa Seki

その土地に合った
家づくりがあります。



南北へ細長くのびる日本は、地域によって様々な気候の特色をもっています。にもかかわらず、全国どこでも同じ仕様の家が建てられるのは、おかしいと思いませんか？その土地ならではの地形や気候があるのならば、家もそれに合わせた性能の家を建てなければいけません。

そんな理想の家を建てるためには、つくり手がその風土の特徴を理解していることが必須条件。その点タツミホームは、知多半島エリアで住まいづくりを続けて約30年。もちろんスタッフも、このエリアを熟知した者ばかりです。風土を知り尽くした地元密着企業だからこそ、本当にこの土地で長く愛される家をつくることのできるのです。

高品質の家に快適な
“暮らし”を描きます。



タツミホームは注文住宅を柱に、分譲住宅やマンションの建設・販売、アパートや店舗などの賃貸事業、不動産業と、多彩な角度で住まいに携わる“住環境づくりのエキスパート”。

そのため、多様化・個性化する施主様のライフスタイルにもきめ細かく対応し、間取りプランや外観デザイン、インテリアに至るまで、幅広い視野でアイデアをご提案することができるのです。高い性能を誇るいい家をつくるのは、当たり前。お客様が抱く夢が描かれた家こそが、新たにマイホームと呼ぶにふさわしい住まい。タツミホームは、確かな家づくりと快適な暮らしづくりをお手伝いいたします。

ステキな住まいが、
ステキな街が創ります。



団地開発においても、数多くの実績を持つタツミホーム。その中で、日当たりなどに気を配り地形を活かした造成など、より安心して暮らすことができる安全な住環境づくりにおいて、豊富なノウハウを培ってきました。

今ある土地にじっくり馴染むステキな住まいが集まれば、その街をよりいっそう輝かせます。お客様に喜んでいただける快適な家を建てることを通して、快適な暮らしを支える街までもクリエイティブしていきたい。それがタツミホームの願いです。

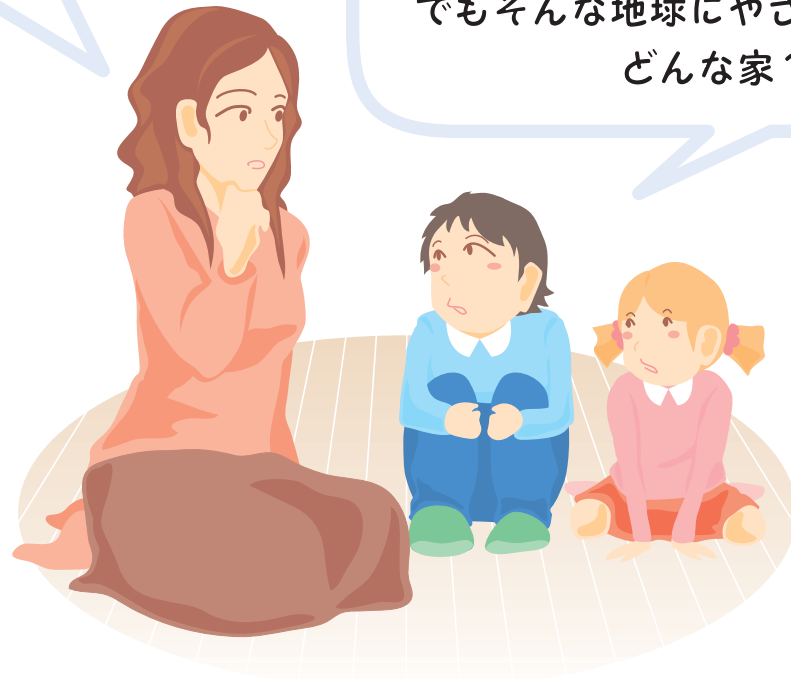
住まいづくりにおけるキーワード Key word **その1**

環境にやさしい家

これからこの子たちが
暮らしていく
未来の地球を守るためにも、
“エコ”や“省エネ”は大切な
キーワード。



しかも省エネってことは、
お財布にもやさしいはず。
でもそんな地球にやさしい家って、
どんな家？



高気密・高断熱＝省エネ住宅

エネルギーのロスが少ないから、経済的&地球にやさしい

1999年に定められた「次世代省エネルギー基準」をご存知ですか？
これは日本全国を6つの地域に分類し、それぞれの地域での住宅の
断熱性能基準と、C値と呼ばれる気密性の基準を定めたもの。断熱性・
気密性の高さが省エネ対策のカギを握ることを国も認識し、厳しく
基準を定めたものです。タツミホームでは、その基準を確実にクリ
アした省エネ住宅の建築を進めています。

Question

なぜ高気密・
高断熱だと、
省エネになるの？



Answer

断熱性と気密性が高いということは、
外の暑さや寒さが室内に入るのを防ぐ
ことができ、逆に室内の快適な温度は
外へ逃がさず保つことができます。つ
まり、1度室内を温めたり冷やしたりす
れば、その温度が長く持続するという
こと。冷暖房のためのエネルギーが少
なくて済むことになります。冷暖房の
使用が減ればCO₂の排出量も当然下がり、
家計も地球も助けることができるのです。

Question

建てた家の断熱性や
気密性の高さは、
どうやって分かるの？



Answer

タツミホームでは、気密性を表すC値
の測定とQ値の計算を全棟実施してい
ます。実際に測定した数値をお客様自
身の目で確認していただいた後、引渡
しを行っています。その他にも分から
ないことがあれば、何でもご質問・ご
相談ください。

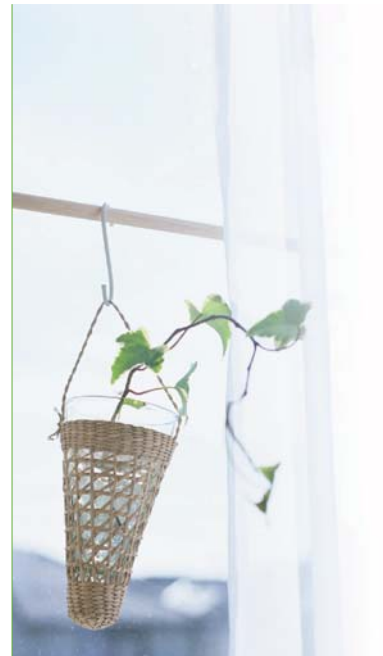
Question

住宅自身の性能を
高める他に、
できることは
ないかしら？



Answer

まずオススメするのが、オール電化。
エネルギーを電気に1本化し、さらに
安価な深夜電力を使うことで、光熱費
を以前よりもグッと抑えられるよう
になったと、多くの施主様からご好評を
いただいております。次に、その名
のとおり省エネを目指したエコキュート。
有害なフロンガスの代わりに空気中の
二酸化炭素を利用することで、家庭で
使うエネルギーの3分の1を占める“給
湯”のCO₂排出とランニングコストを
ぐっと減らします。最後に、自然のク
リーンなエネルギーを利用した太陽光
発電。タツミホームでは高い住宅性能
に加えてこの3点を推奨し、省エネ住
宅の実現をお手伝いします。



知っ得 豆知識

Q 値（熱損失係数）

Q値は、断熱性能の高さを示
した数値のこと。1度温めたり
冷やしたりした建物内の
温度を、どれだけ外へ逃が
さないかを計算した値で、
値が小さいほど断熱性が高
いことになります。

C 値（隙間相当面積）

住宅の気密性を表す数値で、
床面積1m²につきどれだけ
隙間があるかを計ったもの
です。数値が小さいほど隙
間は少なく、気密性も高い
といえます。

住まいづくりにおけるキーワード Key word **その2**
家族の健康を守る家

これからの老後を考えると、
 体に負担がかからず
 安心して快適に暮らせる
 家がほしいなあ。

私たちにやさしい家なら、
 まだ小さい孫たちにとっても
 きっと安全なはずですね。



住環境は健康に大きく作用します

高性能の住まいがつくる、家と体と心の健康

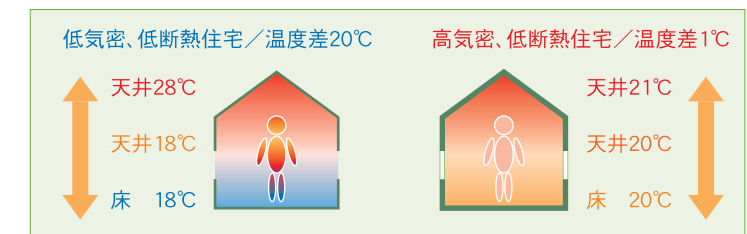
毎日生活する住まいの状態が悪ければ、そこに暮らす人に影響があるのは当然のこと。家自身が健康であることが、家族の健康をつくる一番のカギを握ります。特に、高齢な方の健康を大きく左右すると言われているのが、室内の温度や湿度の変化。体に負担のかからない快適な温度・湿度で暮らすことができる高性能な住宅が、家族の笑顔を守り続けます。さらに体にやさしい素材や、常に新鮮な空気を室内へ届ける換気システムを採用するなど、タツミホームは温度・素材・空気とトータルに安心の暮らしをサポートする、健康な住宅づくりをめざしています。

Question
**室内の温度差は、
 体にどんな
 影響があるの？**



Answer

冬場に暖かな部屋から寒いトイレや浴室へ移動した高齢者が、突然倒れるという事例を聞いたことはありませんか？このように急な温度差によって体にストレスを受けることを、“ヒートショック”といいます。昔から「冷えは万病の元」というように、足元の冷えや室内の温度差は、健康に大きな影響を与えます。実は低気密・低断熱で隙間だらけの家だと、冷暖房を入れている部屋でも暖かい空気は上へ、冷たい空気は下へ移動するため、天井と床の温度差は20℃にもなるといわれています。その点、少しのエネルギーで家中を均一な快適温度に保ってくれる高気密・高断熱の家は、ヒートショックの一因を防いでくれるのです。



Question
**でも室内の空気が
 逃げない高気密・
 高断熱住宅は、
 換気が心配…。**



Answer

高気密・高断熱住宅には、計画換気が必要不可欠です。計画換気とは、結露の原因となる余分な湿気やホコリ、生活臭などの汚れた空気を機械によって24時間自動的に排出し、新鮮な空気を必要な分だけ計画的に取り入れるシステム。これにより、高気密・高断熱住宅を最大限に活かしながら最小限のエネルギーでいつも室内環境をクリーンに保つことができます。タツミホームでは、新居の完成時に全棟において風量測定を行い、どれだけ室内の空気が入れ替わっているかをチェックしております。（→詳しくはP12をご覧ください。）

Question
**近年よく聞かれる
 シックハウス
 症候群の対策は
 大丈夫？**



Answer

シックハウス症候群の原因の1つと言われるのが、建材に含まれるVOC（揮発性化合物）。当社では新たに建てた全棟で、完成後にVOC量の測定を行い、国が定める濃度基準値0.08を大幅に下回る0.01～0.02という結果を確認してから、お客様へのお引渡しを行っております。（→詳しくはP11をご覧ください。）もちろん、建材もVOCを多く含む新建材を極力減らし、自然素材を積極的に取り入れた健康に配慮した住まいをご提案しております。

住まいづくりにおけるキーワード Key word **その3**

建てる前も完成後も 安心をくれる家



新居は誰にとっても、かなり大きな買い物。
それだけに、建築中に事故が起きたり、
入居後に不具合が見つかったり
したらどうしよう…
なんて、考え始めると心配事がいっぱいだよ。

いい家を建てて
くれるのはもちろん、
何かトラブルがあった時も
ちゃんと保証して
もらえればいいんだけど。



「万が一」をサポートする、万全な補償

ていねいな測定と総合的な補償で、お安心を約束

タツミホームでは、安心して夢のマイホームづくりを楽しんでいた
ため、工事中の事故や入居後のトラブルなど、起こりうる様々
な不慮のトラブルをトータルにサポートする、総合的な補償制度を
ご用意しております。建てる前も住んだ後も、確かな信頼の上で住
まいづくりをお手伝いできるよう、万全のシステムでお客様をお待
ちしております。また、当社の建てる住まいの性能を知っていただ
くために、全棟に各種の測定を義務付け、その性能を数値で証明。
お客様の目で基準以上の品質をお確かめいただき、高性能を保証い
たします。

お申し込みから完成までの流れ

- お申し込み受付 調査 **地盤調査**
・建てた後で困らないよう、事前に現地の地盤調査を行います。
- ご契約
- 着工 検査 **基礎配筋完了時検査**
- 基礎完了
- 上棟 検査 **屋根工事完了時検査**
- 工事完成 検査 **気密性能(C値)測定**
・住宅の気密性を示す隙間相当面積(C値)を、全棟1棟ずつ測定いたします。国が定めた次世代省エネ基準をクリアする、隙間相当面積 $2\text{cm}^2/\text{m}^2$ 以下を保証しております。

検査 **換気機能測定**
・全棟において風量測定を行い、換気機能が正常に機能しているかどうかを検査いたします。

検査 **室内環境測定**
・ホルムアルデヒドやトルエンなど室内の空気を汚染する揮発性有機化合物(VOC)の濃度を測定します。国が定める室内濃度指針値をはるかに下回る安全な数値を確認の上、お引渡し致します。
- 工事完了 検査 **熱損出係数(Q値)計算**
・建物内外に1度の温度差があると仮定して、建物から逃げる総熱量を床面積で割った数値(Q値)を計算し、ご報告いたします。次世代省エネ基準以下の数値を、お客様の目でお確かめください。
- お引渡し

建てる前の安心

建っている途中の安心

建てた後の安心

完成保証 【履行保証保険】

お客様の大切な新居の完成を保証いたします。



建設工事保証 【建設工事保険】

工事中に起こった火災や雪災、水災(高潮、洪水、豪雨)などによって、建設中の建物が被害を受けた際、損害を補償いたします。

工事中の賠償責任 【請負賠償責任保険】

工事中の物損事故、工具が落下して通行人が怪我を負うなどの人身事故の際、その損害を賠償いたします。

瑕疵保証 【住宅瑕疵保証保険】

万が一、何らかの不備で欠陥が生じた場合、10年間無償で修理いたします。
※「住宅品質確保促進法」に基づき、基礎、床、柱・梁、壁、屋根などの構造耐震上主要な部分、及び雨水浸入防止部分が保証の対象となります。

引渡し後の賠償責任(PL法) 【生産物賠償責任保険】

引渡し後に何らかのトラブルで、人や物に対する損害が生じた場合、賠償いたします。

無結露30年保証 (FPの家に限る)

経年変化も性能劣化も少ない高耐久の証として、ウレタン断熱パネルの素材内部については、30年間の無結露を保証いたします。

CLOSE UP! HOUSING

クローズアップハウジング

タツミホームの FPの家

このパネルが、住宅を変える! 健康的な温度で暮らす「FPの家」

CLOSE UP!

FPウレタン断熱パネルがつくる ゼロフロン住宅

かつては、硬質ウレタンフォームをつくる過程で、発泡剤として特定フロン(CFC-11)が使用されていました。しかし有害オゾンは、地球温暖化やオゾン層破壊を招く一因として、今後減らしていくべき物質の1つ。そこでFPの家が採用した

ウレタン断熱パネルは、フロンや代替フロンを一切使わず、水発泡方式によってつくられた「ゼロフロン・ウレタン断熱パネル」を採用しました。地球にやさしい高性能住宅の新たなカタチがココに実現します。

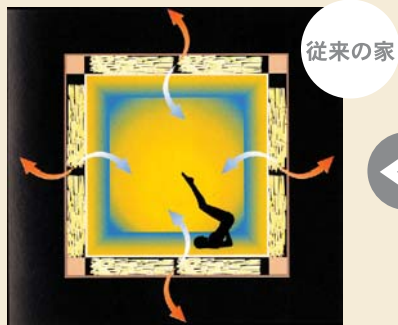
CLOSE UP!

FPウレタン断熱パネルがつくる 省エネ住宅

グラスウールなどを断熱材に使用する従来の住宅は、施工中にできるムラなどによって断熱性能と機密性能が大きく左右されます。施工ムラがあると冷暖房を入れた部屋と入れていない部屋との温度差が大きくなり、冷暖房費は多くかかることに。その点、FPの家は、ウレタ

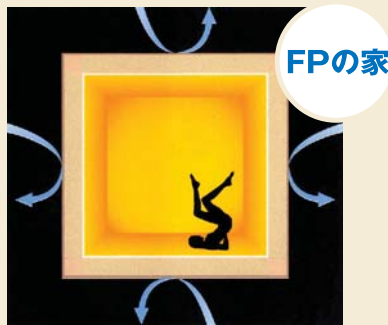
ン断熱パネルを壁・床・屋根と家中に敷き詰めるため、施工ムラが少なく安定しています。各部屋の温度差も少なくなり、冷暖房費が少なく済む上、パネル自体の保温効果が高いため、一度温めたり冷やしたりすれば、快適な温度が長続きします。

グラスウール



従来の家

ウレタン断熱パネル

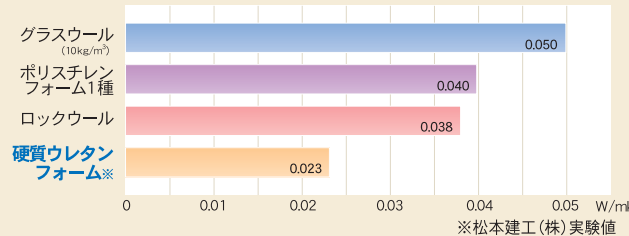


FPの家

グラスウールは、施工状態によって断熱性能・気密性能が左右されます。施工ムラがあると暖房室と非暖房室の温度差が大きく、冷暖房費が多くなることになります。

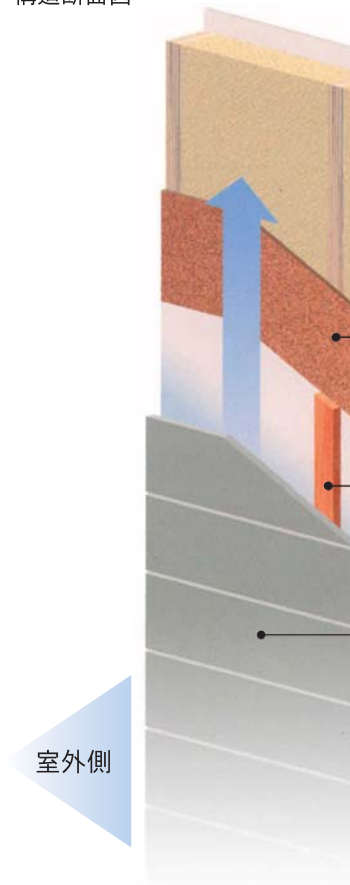
ウレタン断熱パネルの断熱性能・気密性能は施工状態によるムラが少なく、安定しています。各室の温度差が小さく、冷暖房費も少なくて済みます。

各断熱材の 断熱性比較 (熱伝導率)



FP204 システムハウス

ウレタン断熱パネル
構造断面図



室外側

室内側

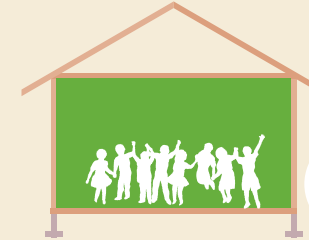
性能と快適の FPウレタン

CLOSE UP!

FPウレタン断熱パネルがつくる 大空間住宅

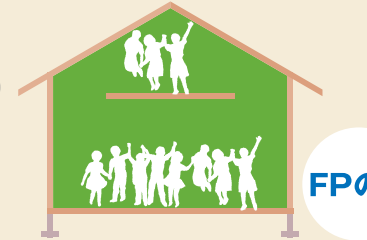
FPの家の特徴は、壁だけでなく床や屋根までウレタン断熱パネルを敷き詰め、家自体をスッポリと包んでしまうこと。従来の家では屋根の構造上設計や間取りに制約がありましたが、FPの家は屋根専用のFP遮断パネルを使い、屋根ギリギリまで室内空間を100%利用できるのが魅力です。屋根まで広がる吹き抜けや小屋裏を利用したロフトなど、独創的な夢あふれる住宅づくりを可能にし、大空間でのゆとりある暮らしを自由設計でお楽しみいただけます。

一般ツーバイ工法



従来の家

FP204システムハウス



FPの家

屋根の構造上、設計・間取りが制約されます

屋根のFP遮断パネルにより、小屋裏が100%利用でき、大きな空間が生まれます。

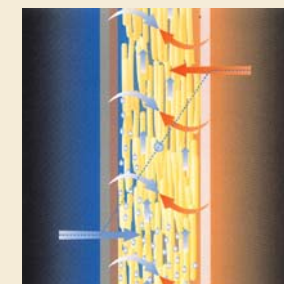
CLOSE UP!

FPウレタン断熱パネルがつくる 無結露住宅

住宅の寿命を縮めてしまう一番の原因は、壁の中に結露ができて躯体の木材が腐ってしまうこと。壁体内に湿気がたまって結露が生じると、木材腐朽菌が繁殖しやすくなり、木がたちまち腐ってしまいます。そのため、壁の中に使用する断熱材の吸湿性が、住宅の寿命に大きく関わってくるのです。硬質ウレタ

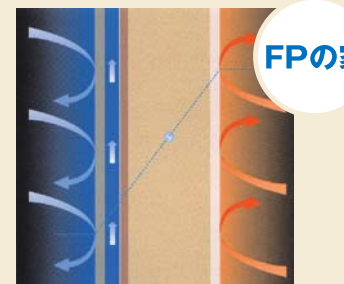
ンフォームとその網の目に包まれた小さな独立気泡の集合体で構成されたFPウレタン断熱パネルの断熱素材は、湿気をほぼ完全にシャットアウト。年が経つにつれて性能劣化が少ない高耐久の証として、FPの家はウレタン断熱パネルの素材内部について、30年間無結露を保証しています。

一般ツーバイ工法



従来の家

FP204システムハウス



FPの家

グラスウールなどの繊維系断熱材は、空気(水蒸気)を含んでいる素材なので、断熱・気密化工事が不完全だと、壁の中に湿気が侵入し、壁体内結露を起こします。

ウレタン断熱パネルの硬質ウレタンは、高分子による気密層であり、壁の中に結露が発生することなく、木材を腐らせることもありません。

グラスウール との 吸水性比較



グラスウールは水を吸って沈んでしまいますが、硬質ウレタンはいつまでも沈みません。

各種断熱材の 透湿比抵抗

品名	透湿比抵抗 (mhmHg/g)
硬質ウレタンフォーム	615 ※1
ポリスチレンフォーム	571以下 ※2
グラスウール	6~12 ※3

※1: 松本建工(株)実験値
※2: JIS規格より
※3: 「建築の結露」山田雅士(井上書院)より引用

両方をかなえた 断熱パネル

CLOSE UP! HOUSING

クローズアップハウジング

タツミホームの 2×4工法 の家

現実的なコストで快適を 自分スタイルハウジング 「2×4工法の家」

地元の風土にピッタリの住宅性能を高いコストパフォーマンスで実現

CLOSE UP!

地域に合わせて快適に暮らせる住環境をカタチに

太平洋に面し、比較的暖かい気候が特徴の知多エリア。その気候に合わせた断熱性能と気密性能を高いコストパフォーマンスで実現するため、タツミホームでは発泡ウレタンを採用しています。1棟1棟、現場担当者がいねいに吹き付けを行い、完成後に全棟気密性能（C値）測定を実施。これまで全棟でC値1.9～2.0という、この地域では十分な値を記録しています。



▲タツミホームで建てられた住まいは、すべて完成後に気密測定を行っています。



▲細部までムラなく発泡ウレタンを吹き付け、安定した断熱・気密性を実現。

丁寧に
仕上げているワン



▲断熱検査天井



▲断熱検査壁

大切な家だから、
白蟻防蟻防蟻工事も
しっかり行います。



▲白蟻防蟻防蟻工事の様子

CLOSE UP!

シックハウス対策も万全の安心・安全住宅



▲シックハウスVOC測定パッチ

新築や改装した家に入居後、目・頭・喉などの痛みを訴えたり、呼吸困難に陥るなどの症状が出ることがあります。これが「シックハウス症候群」と呼ばれる症状。カビやダニ、家具に含まれる有害物質などさまざまな要因の中でも、住宅の高気密化や建材・内装から放散される化学物質による室内空気の汚染が一番の原因といわれています。タツミホームでは、こうした症状を防ぎ安心して暮らしていただけの安全住宅を目指して、ホルムアルデヒド、トルエンなど揮発性有機化合物（VOC）と呼ばれる汚染物質の濃度を完成後全棟で測定。安全な数値を確認した上でお引渡しいたします。これまでも国が定めた室内濃度指針値をはるかに下回る数値で、お引渡しを行っています。

新築や改装した家に入居後、目・頭・喉などの痛みを訴えたり、呼吸困難に陥るなどの症状が出ることがあります。これが「シックハウス症候群」と呼ばれる症状。カビやダニ、家具に含まれる有害物質などさまざまな要因の中でも、住宅の高気密化や建材・内装から放散される化学物質による室内空気の汚染が一番の原因といわれています。タツミホームでは、こうした症状を防ぎ安心して暮らしていただけの安全住宅を目指して、ホルムアルデヒド、トルエンなど揮発性有機化合物（VOC）と呼ばれる汚染物質の濃度を完成後全棟で測定。安全な数値を確認した上でお引渡しいたします。これまでも国が定めた室内濃度指針値をはるかに下回る数値で、お引渡しを行っています。

CLOSE UP!

人と住まいの健康を守る24時間換気システム



◀高気密・高断熱の性能を活かし、最小のエネルギーでクリーンな室内を保つのが、計画換気システムです。

室内の空気や温度をしっかりと閉じ込める高気密・高断熱の住宅には、計画的な空気の換気システムが欠かせません。結露の原因となる余分な湿気やホコリなどを含む汚れた空気を排出し、新鮮な空気を必要な分だけ取り入れることで、住環境を常にクリーンに保ち、住まいとそこに暮らす家族の健康を守ることにつながります。そこでタツミホームは完成した住まい全棟で風量測定を行い、換気機能が正常に機能しているかをご確認いただいてから、お引渡しを行っています。



これが換気風量
測定器だよ



◀完成時に全棟風量測定を実施し、換気機能を確認いたします。

CLOSE UP!

エコロジーとエコノミーを かなえる住まいをサポート

温暖化など地球環境の危機が身近に感じられるようになった現代。そんな中でタツミホームの住宅は、「オール電化・エコキュート・太陽光発電」という地球とお財布にやさしい3つのエコシステムを推奨しています。エネルギーを電気に1本化するオール電化は、安価な深夜電力を利用することもでき、エネルギー使用量も光熱費もグッとダウン。エコキュートは空気中の二酸化炭素というクリーンなエネルギーで給湯を行うため、ランニングコストとともにCO₂の排出の削減ができます。さらに自然からの恵みであるエネルギーを最大限に利用した太陽光発電と組合せ、エコロジーとエコノミーを同時に実現する住まいが完成。もちろん省エネルギー基準をクリアした、ステキなエコ住宅をお手伝いいたします。



「気持ちいい住まいをつくりたい」そんな思いを
タツミホームでカタチにした方にお話をうかがいました。



毎日帰ってくるのが楽しみに。
瞬間、笑顔がこぼれる心地いい住まい。

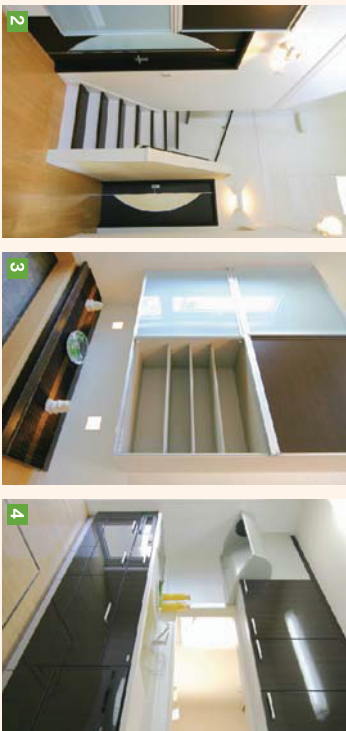


ん、マイホーム
つかモデルハ
玄関に入って感
お客様が最初に
で、気持ちよく
いなあと、思っ
ホームのモデ
てすぐの吹き抜
ても開放的で居
マイリッジュな
など、センスの
ったこの玄関は、
は切り戸を隔
戸を開ければ、
ダイニング・キ
家事をしなが
すこともでき
に洗面台や洗
とで、忙しい朝
よ。暮らしやす
です。

Point

ココもポイント！

- 2_ 玄関を入るとすぐに、開放感いっぱい吹き抜けが迎えてくれる。
- 3_ 玄関には、デザイン性の高い造り付けの棚を設置。
ホワイト&ダーツラウソンの落ち着いた配色。
- 4_ 家事をしながらもリビングを見渡せるキッチンには、
作業がしやすい直線の動線になっているのもポイント。



入居して驚いたのは、冬の暖かさ。暖冬だったとはいえ、冬の間寒いと感じたことがあまりなかったですね。また、オール電化にしたことで、ランニングコストが随分変わりました。コストだけでなく、お湯が出るのが早かったり、タイマーをかけておけば安心して他の仕事ができたりと、家事の効率も上がって、ゆったりと時間を使えるようになった気がします。

HAPPY VOICE 2

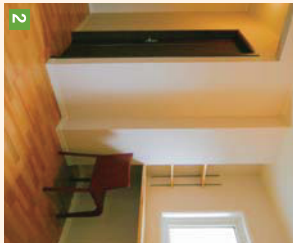
愛知県
丁様邸

家族が安心して暮らせる快適な住まいを求めて
タツミホームを選んだ方にその魅力をお話しました。

新しい家族の誕生をひかえて
自然の光が満ちる安らぎの住まいがナ



- 1_ ダイニングとキッチン間の仕切りを極力なくして、空間のつながりを強調。
- 2_ 2階のファミリースペース。将来の姿が見られるはず。



契り。期待に胸を膨らませながら、家族が快適に暮らせる住まいを探し始め、この家に出会いました。見学に来てすぐに気に入ったのは、1階に広がる、大空間。天井高があるため、心地よい開放感を味わえます。またこの家は、すぐ裏手に大きな団地があるんです。そこで庭に面した南側にだけ、壁いっぱいの窓が。他にも小窓を散りばめて、自然光を十分に取り入れながら、外からの視線をブロックしているんです。住んだ後の生活を見越したこのような細かな心配りが、うれしいですね。さらに、ウレタノンフォームを断熱材に採用し、大空間でも季節を問わず快適な温度をキープ。家族全員が笑顔で暮らせる快適な住空間です。

また、ポイントとなったのが家族の時間をつくる住まいづくり。対面キッチンは吊り棚を外すことで、リビング・ダイニングまで楽に見渡せるので、家事をしながらも家族とコミュニケーションができます。2階のホールにはカウンターの設けて、書斎スペースに。家族が集い、同じ時間を共有できる空間づくりも、これから子供を持つ私たちにピッタリでした。

Point

ココもポイント！

- 3_ 明るく開放感がある吹き抜けの玄関。
- 4_ 縦スリットの三連窓は、太陽光を導くとともに室内外のデザインのアクセントに。



LDKはもちろん、洗面スペースやトイレ、ライベートな空間も、通常より広めに設計されています。また、スッキリとした室内を確保。日常の掃除もしやすく、とても定した工夫が、随所で光ります。

